

熊本にシャトル初便出発

2トントラックで 月4、5回予定 保存食や紙おむつ

第1便では、総社市民から寄せられた水やカップ麺といった保存食、紙おむつなどを2トントラック1台で運

び、これとは別に現地の活動用の電気自動車2台を船便で輸送。総社市職員1人とAMD Aの医師、看護師ら

4人も派遣した。震度7を観測し甚大な被害が出ている益城町との間を結ぶシャトル便は今後1カ月間で4、5回を予定。次便は23日、10自治体から職員と物資を集めて送り出す。

総社市役所で出発式があり、派遣職員の土屋義典財政課主査(42)が「余震が続き避難生活は長期に及んでい

AMD Aと総社市など10自治体救援物資

熊本地震の被災地支援のため、国際医療ボランティアAMD A(本部・岡山市)と総社市、丸亀市など中四国の10自治体は

20日、総社市を発着基地とした救援物資輸送の「シャトル便」の第1便を熊本県益城町に送った。



トラックに救援物資を積み込む総社市職員ら
総社市役所

る。市民の皆さんから預かった物資を確実に届け、できる限りの支援をしてきたい」と決意を述べた。

(古川和宏)